



労働災害  
VRコンテンツ入りの  
ヘッドマウント  
ディスプレイをご提供

# 安全道場VR 労災を体験するVR

安全教育を記憶に残る体感教育に  
実際に現場で起こりうる7つの労働災害をVRで体験可能なオールインワンパッケージです。

既存の安全教育の課題を解決します。



製造現場(職場)の  
労働災害を防ぎたい



現場のような臨場感があり、  
事故を自分ゴトとして感じられる  
安全教育を導入したい



参加者に意欲を持って  
研修・講習に臨んでもらいたい

## ご提供中の教育コンテンツ

### ① カッター作業

カッターを用いて起こりうる  
労働災害をVRで体感。



### ② 機械回転部作業

コンベア清掃時、起こりうる  
労働災害をVRで再現。



### ③ 高所作業

高所作業を、一人で行って  
しまう危険行動を体感。



### ④ エアブロー清掃

エアホースを使用した機械  
などの危険をVRで再現。



### ⑤ 可燃性溶剤火災

静電気が可燃性溶剤に  
引火して起こる火災を体感。



### ⑥ 機械点検

点検を行う際、誤った操作に  
より発生する労働災害を体感。



### ⑦ 稼働機械清掃

機械稼働中に清掃作業を  
行った際の危険をVRで再現。



## 安全道場VRの特長



高精細  
HMD



臨場感ある  
映像



社内教育に  
最適



オリジナル  
アプリ



安全道場  
監修



多言語に  
対応

詳しくは下の  
QRコードから



# 「安全道場VR」 東洋アルミニウム株式会社様 導入インタビュー

「安全道場VR」導入前の課題と、導入後の効果について  
東洋アルミニウム株式会社 箔事業本部の西谷様にお話を伺いました。

## 若年層をターゲットにした安全教育

**トッパン担当者(以下、トッパン)：**まず、「安全道場VR」導入前に抱えていた課題や、導入検討のきっかけを教えてください。

**西谷様：**昨年度、製造所内で労働災害が続いており、製造所全体の安全意識が低くなっていると感じていました。従業員向けに安全教育は実施しているのですが、今後は特に若い世代に興味を持ってもらいやすいものを、と考えていました。

**トッパン：**特に若い世代への安全教育とのことですが、何か理由はありますか。

**西谷様：**蒲原製造所は他の製造所と比べても平均年齢が若いというもありますが、昨年度特に20代後半から30代の災害発生が多かったため、そういった層が興味を持ち、かつ意識を変えることができる安全教育を模索していました。そうした時に「安全道場VR」を知り、VRだと若年層にも興味を持ってもらいやすいのではと考え、導入に至りました。



西谷様は、静岡県にあるこちらの蒲原製造所にて製造所内の安全活動の推進、災害や事故を低減する為の活動をご担当されています。

## VRで危険を体感すること

**トッパン：**すでに「安全道場VR」は運用されていますか。

**西谷様：**6月に「安全道場VR」を3台導入し、7月から約2ヶ月ほどかけて製造所の全従業員約130名を対象に体感教育を行いました。

**トッパン：**ターゲットとしていた若年層の反応はいかがでしょう。

**西谷様：**リアルな災害の描写に驚いてもらったり、気をつけなければという感想をもらったりと、ご年配の方よりも良い反応がありました。実際、VRで体験した状況に近い業務を行うときに「安全道場VR」を思い出すという声もあり、VRで危険を体感するのは非常に有効であると感じています。

**トッパン：**VRで体験した状況に近い業務とは、具体的にどのような業務でしょうか。

**西谷様：**回転物全般の業務です。「安全道場VR」の中では「機械清掃」のVRコンテンツを特に利用しています。7つのコンテンツすべてが製造所の業務に関連するわけではないですが、様々な事故の疑似体験を行うことで新しい気づきが得られたという感想もあり、全てのコンテンツを体験してもらおうようにしています。



## 今後の安全教育活動

**トッパン：**今後について何か展望はありますか。

**西谷様：**今回、蒲原製造所および茅ヶ崎製造所での「安全道場VR」による体感教育が好評だったので、引き続き他の製造拠点でも活用予定です。また、今後追加のコンテンツがあれば、導入を検討したいです。可能であれば、より製造所の実態に近いコンテンツで体感教育ができればよりよいと思っています。